

Intertextile Shanghai 「Japan Pavilion」 2016 Spring Edition

【開催概要】

intertextile
SHANGHAI apparel fabrics

◆ Intertextile Shanghai 2016 Spring Edition

- ◇ 展示会名： Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Spring Edition 2016
- ◇ 会場：中国 国家会展中心(上海) (National Exhibition and Convention Center(SHANGHAI))
- ◇ 会期：2016年3月16日(水)～18日(金) 9:00～18:00
- ◇ 主催：Messe Frankfurt(HK) Ltd. 中国国際貿易促進委員会紡織行業分会(CCPIT)
China Textile Information Center(CTIC)
- ◇ 出展者数(2015年春展実績)：24ヶ国・地域から 2,637社 (2014年春 1,469社)
- ◇ 来場者数(2015年春展実績)：88ヶ国・地域から 62,000名 (2014年春展:40,214名)

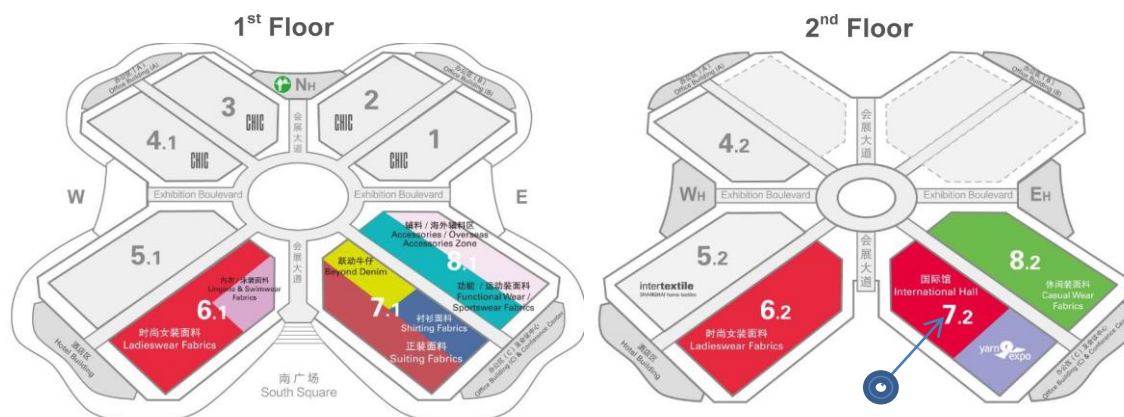
世界最大規模のテキスタイル見本市「Intertextile 上海」の Spring Edition は、3月16日～18日の会期で行われる。昨年から会場を虹橋に新設された中国博覧会展総合体(略称 NECC)に移した事で、出展者数で180%、来場者数で154%と秋展に迫る規模・動員となり、従来の春展とは全く別物になっている。今回も昨年3月、

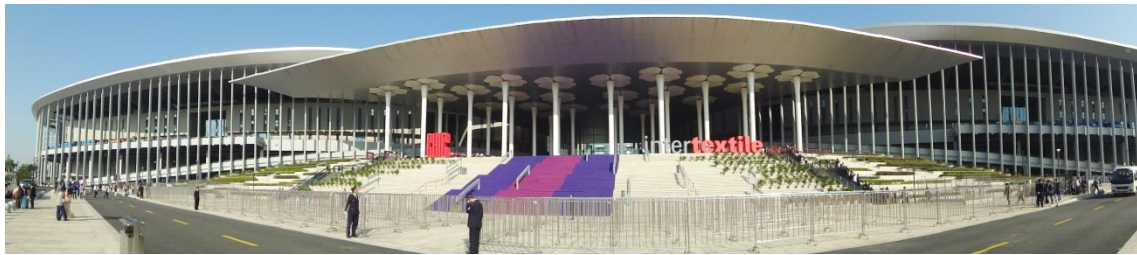


10月に続き中国最大のアパレル展、中国国際服装博覧会(CHIC)や、糸の見本市 YARN EXPO との併催となり多くの動員が見込まれる。中国経済の減退傾向が懸念される現在も中国アパレル・バイヤーの意欲は高く、高級ブランドはより差別化した商品を求める傾向にある。JFW では今こそ日本の高品質な素材を提案する千載一遇の好機と捉え、今年も「Japan Pavilion」(以下 JP)を組織して出展する。

◇ 会場レイアウト

NECC 全13ホールの内、CHIC が North Square を中心に4ホール、Intertextile 展が South Square を中心に6ホール(去年は4ホール)を使用し、同展の展開面積は 156,000 m²と春展では過去最大規模で開催される。ホールレイアウトは Intertextile 展の目玉である国際館が、昨年同様7. 2Hを使用。ドメスティック出展ゾーンがそれ以外の5ホールとなっているが、主催者が特に力を入れている Beyond Denim(7. 1H)と、Accessories (8. 2H)だけはドメスティックとインターナショナル出展者の混合で展開されている。





◆ 『Japan Pavilion』 2016 Spring Edition 開催報告



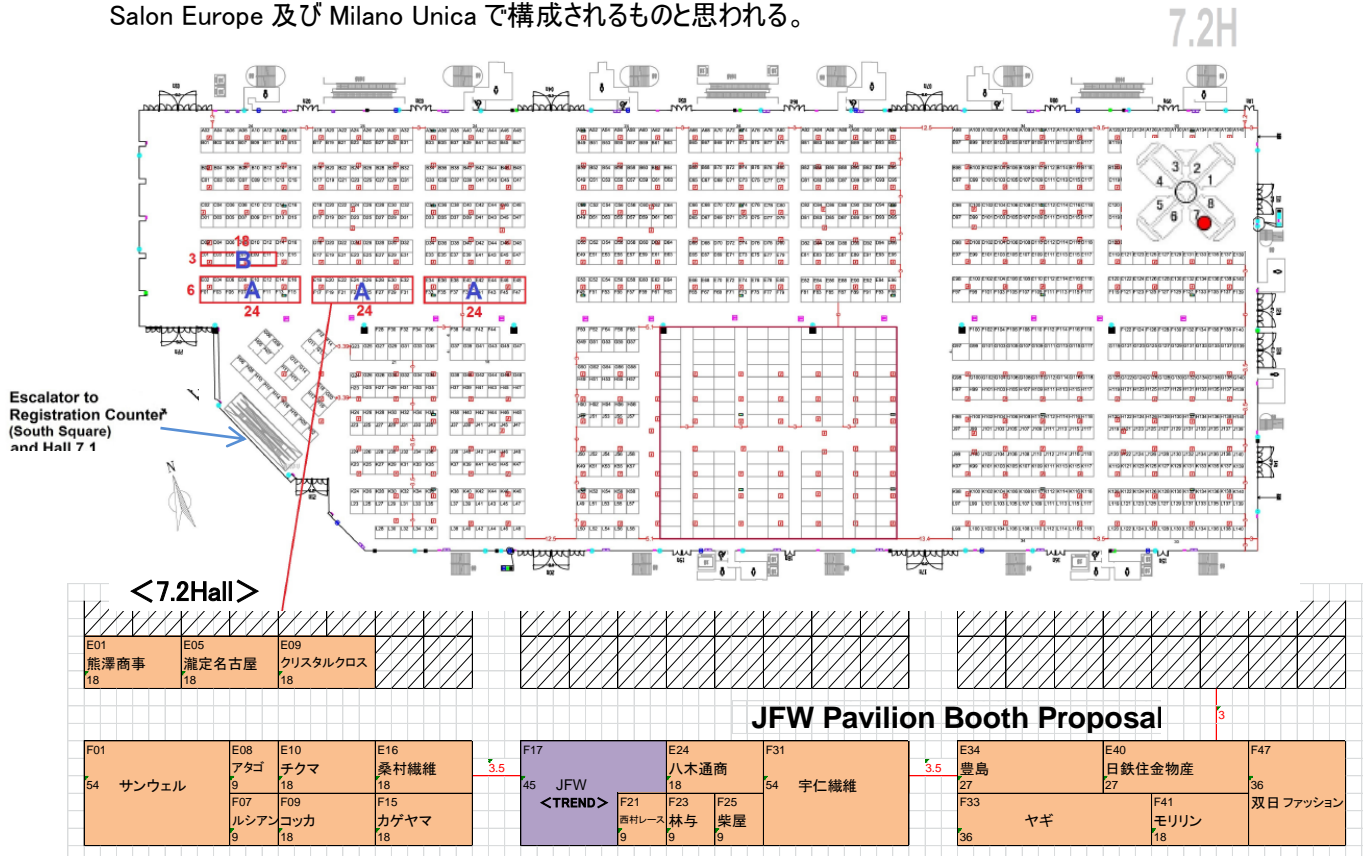
- ◇ 出展場所: 国際館内 (Hall.7.2)
- ◇ 出展内容: ビジネスコーナー(商談ブース集積)+ジャパン・トレンドコーナー
- ◇ 出展規模: 20社/49小間 + トrendコーナー4+1小間 合計:54小間(486m²)
- ◇ 主催: 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFW)

◀Japan Pavilion 出展者リスト▶ 20社(内 新規4社*)

(株)アタゴ*、宇仁繊維(株)、(株)カゲヤマ、熊澤商事(株)、(株)クリスタルクロス*、桑村繊維(株)、(株)コッカ、
 (株)サンウェル、柴屋(株)、双日ファッション(株)、瀧定名古屋(株)、(株)チクマインターナショナル、豊島(株)、
 西村レース(株)、日鉄住金物産(株)*、(株)林与、モリリン(株)、(株)ヤギ、八木通商(株)*、(株)ルシアン /JFW

◇ 「Japan Pavilion」出展位置と小間レイアウト

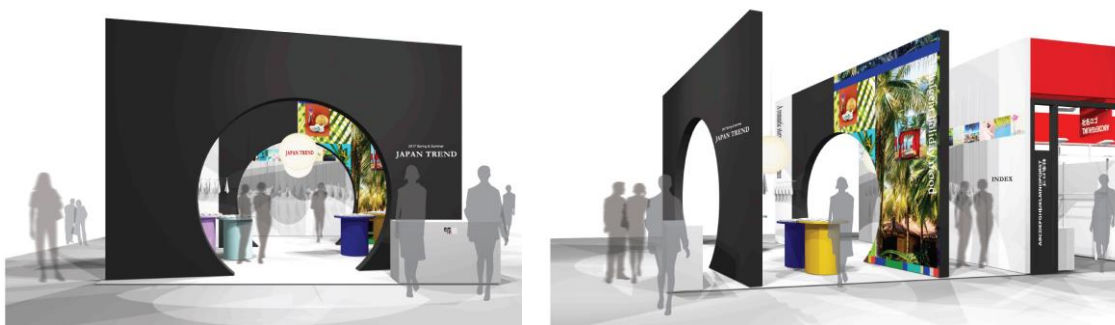
昨年の春展同様、Japan Pavilion はホール7.2のメイン通路に面したバストロケーションを確保。ホール奥の1/3が YARN EXPO で使用し、通路北側を日本、台湾、韓国の Pavilion で構成し、通路南側が Salon Europe 及び Milano Unica で構成されるものと思われる。



昨年はメインエントランスである South Square を中心に左右の館で CHIC と Intertextile が開催されていたのに対し、今年は使用されていない館(5. 1H、5. 2H)を挟んで両展が開催される為、昨年並みの相乗効果が出るのか、来場者はどのような導線で動くのか注視したい。

□ ジャパン・トレンドコーナー

毎回、話題を呼ぶ Japan Pavilion のトレンドコーナー。今回の施工コンセプトは“大壁画の連続で、分割された空間を構成。大きくくり抜かれた窓から景色を愛でる様をイメージ“という MU 出展時の内容を継承しながらも、スペースと環境の違いから上海展ではコンパクトに構成。トレンドテーマも2つに集約し、陳列は円形テーブルを使用する事で汎用性を高め、INDEX の吊りと合わせて変化のある演出をしています。特に上海ではジャパン・トレンドコーナーの人气が高く、3日間で5,000人近い来場者が訪れる。今回も同コーナーから JP 出展者ブースへの誘引と日本製テキスタイルのブランディングを図って行きます。



~~~~~  
Intertextile 上海 2015Spring Edition 「Japan Pavilion」

